

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 栄光園 乳児院 栄光園
------	-----------------------

## 福祉サービス第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

### ②第三者評価実施期日

平成26年10月16日、17日

### ③事業者情報

名称：社会福祉法人 栄光園 乳児院 栄光園	種別：乳児院
代表者氏名：熊谷 登喜子	定員：20名（利用人数：16人）
所在地：大分県別府市南荘園町3組 TEL：0977（21）8085	

### ④総評

#### ◇評価の高い点

- 1名の子どもに対し、担当と副担当の2人体制をとっており、担当は退所まで一環とした持ち上がり制をとっている。特定の大人と個別的な関わりができるように、シフト作成にも配慮しており、スキンシップを通じて気持ちや甘えを受け止めることが出来るよう支援している。
- 全職員がポケット手帳を携帯し、日々の支援の中で気がついたことや職員で共有したいこと、改善したいことなどをメモしている。メモした内容は集約し、その都度全体会議で共有している。また、複数の職員で互いに、子どもの見守りや入所児への対応や接し方のアドバイスをを行っている。
- 児童相談所や家庭のある地域の保健師、市の担当職員と連携を図るとともに、職員も家族療法の研修や児童相談所のスーパーバイザーとの連絡会を通して、家族への支援に対する専門性の向上に取り組んでいる。
- 入所時には、養育や支援の内容はリーフレットに沿って、丁寧に説明をしている。ホームページは、事業内容等について、掲載写真や言葉の表現に配慮しながら定期的に更新している。また、小グループで担当制やディリープログラムに沿いながら「笑顔で・優しく・十分なスキンシップ」を全職員の合言葉とし、一人ひとりの思いを大切にされた支援に努めている。
- 子どもの安全確保のために、定期的に担当職員が中心となって事故発生マニュアルや衛生管理・感染症の会議を開きマニュアルの見直しを行っている。また、不審者の侵入に備え、地域の派出所との連携もとっている。

- 施設の役割や機能を達成するために、関係機関等をリスト化し、職員間で情報を共有している。また、数多くの地域行事に参加し触れ合い大切にして、地域との交流深めている。児童館やショッピング、バスツアーなど地域の社会資源を活用しながら外出支援をしている。地域のボランティアグループやデイサービス利用者などとの触れ合いも多い。
- 施設が目指す理念や基本方針に沿って、職員の人材育成が図られ、中・長期計画の中に教育内容や研修内容が詳細に記載されている。職員は援助技術の向上を目指し、定期的に「親業臨床心理士」の指導を受けレベルアップに繋げている。
- 運営理念や基本方針を明確にし、子ども一人ひとりの特性に応じた支援に取り組んでいる。中・長期計画をもとに小グループケアを定着させ、新しい型の施設づくりを目指している。特に運営方針の「笑顔で・やさしく・十分なスキンシップ」を合言葉として取り組んでいる。

#### ◇改善が求められる点

- 心理的な支援を必要とする乳幼児本人の訴えは、保護者との面接や児童相談所からの資料、施設内のアセスメントなどを十分に読み込み、日ごろの乳幼児の様子から総合的に判断し、職員で共有化することを期待する。また、保護者への心理的ケアについても積極的に取り組むことを期待する。
- 保護者の心理的・社会的課題に寄り添い、乳幼児にとって適切な養育環境となるよう親子関係の再構築のための支援と職員のさらなるスキルアップの取り組みが期待される。
- 問題解決のための支援目標と施設で取り組む具体的な支援内容が記された自立支援計画については、保護者とも内容を共有し、寄り添いながら支援していく取り組みが期待される。計画の見直し時には面接等で保護者の意見も取り入れ、一緒に目標についての振り返りが出来る取り組みを期待する。
- 災害時の対応として、様々な災害事例数多くあげ、施設独自の優先順位やマニュアルの作成に取り組んでいるが、地域住民との協力体制を再検討することを期待する。

#### ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

的確な評価をいただき、改善点等については早急に取り組みを始めています。  
「a」評価だった項目も「できている」という安心感・満足感を持つことは、支援の質の更なる向上の妨げとなることから、今後は、評価結果に基づきながら、できているところも、十分でないところも、細部にわたり振り返りを行うと共に、乳児院らしい各種マニュアル作りに取り組む予定にしております。  
受審して大いに考えさせられましたし、学ばせていただきました。

#### ⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）